

三河の昆虫

No. 21 1978年9月

〒441-01 宝飯郡小坂井町
大字伊奈字佐脇原 300-1062
山崎隆弘方
三河昆虫研究会 発行
第一プリント社 印刷
☎《0564》21-4463

三河地方で採集した珍しい甲虫 (その3)

山崎隆弘

最近三河地方より得た甲虫のなかに、記録すべき種が若干あったので、ここに報告したい。

ここに記録した採集品は、すべて筆者の採集品であり、学名・和名は原色昆虫大図鑑第2巻(北隆館)に従った。

末尾ではあるが、日頃暖かなるご指導を受賜している大平仁夫博士に対し、ここに感謝の意を表する。

1. *Tosadandroides okamotoi* Kono

オカモトツヤアナハネムシ (図, B)

1♂, 段戸山裏谷, 1-V, 1975。

体長8mm光沢のある黒褐色で、雄は上翅の後方への字状の深い裂開を有する。本種はアカハネムシ科の1種で、本州・四国・九州に分布する。1969年6月15日に、三重県飯南郡飯高町で2頭採集されているが、本州での採集例はきわめて少ない。今回段戸山裏谷で1♂得られたが、現在のところ、これが本種の北限に近い産地ではなからうか。

2. *Amida tricolor* Harold

アミダテントウ

2 exs., 豊川市財賀寺, 17-V, 1978。

1 ex., 新城市舟着山, 21-V, 1978。

1 ex., 南設楽郡鳳来寺山, 22-V, 1978。

2 exs., 豊川市財賀寺, 26-V, 1978。

本種はすでに幡豆沖ノ島, 北設楽郡大入溪谷,

豊川市財賀寺から記録があるが、更に数頭を得ることができたので、ここに記録しておく。この他にも、松野氏によって新城市吉祥山にて1頭得られている。これらによって、本種は三河地方に広く分布していることが判明した。

3. *Doubledaya bucculenta* Lewis

ニホンホホビロコメツキモドキ (図, C)

1 ex., 新城市舟着山, 21-V, 1978。

本種は邦産コメツキモドキ科の最大種である。採集した個体は体長17mmであった。特長ある種ではあるが、三河地方からは、おそらくこれが最初と思われる。

4. *Miwacrepidius subcyaneus* Motschulsky

ルリツヤハダコメツキ

1 ex., 豊橋市石巻山, 9-V, 1978。

本種は翅鞘がルリ色の光沢を持った美しい種で、三河地方では稲武町黒田ダム, 猿投山, 段戸山, 茶臼山で得られているが個体数は少ない。山地性の本種が、石巻山のような低山地に産することは興味深いことである。

5. *Leptepania japonica* Hayashi

ヤマトチビコバネカミキリ

5 exs., 豊橋市石巻山, 6-VI, 1978。

5mm内外の小型のカミキリのため、発見されにくいのが、今回石巻山で上記の他にも多数得られた。東三河ではこれが最初の記録と思われる。

6. *Xylotrechus rufilius* Bates

クビアカトラカミキリ

多数, 石巻山, 6-VI, 1978。

本種はすでに松野氏によって富山村で記録されているが, 石巻山のような低山地に多産するのは興味深い。

7. *Parechthistatus grossus* Bates

セダコブヤハズカミキリ

1 ex., 三河本宮山, 1-VI, 1978。

闇苧溪谷にて葉上に静止していたものを得た。

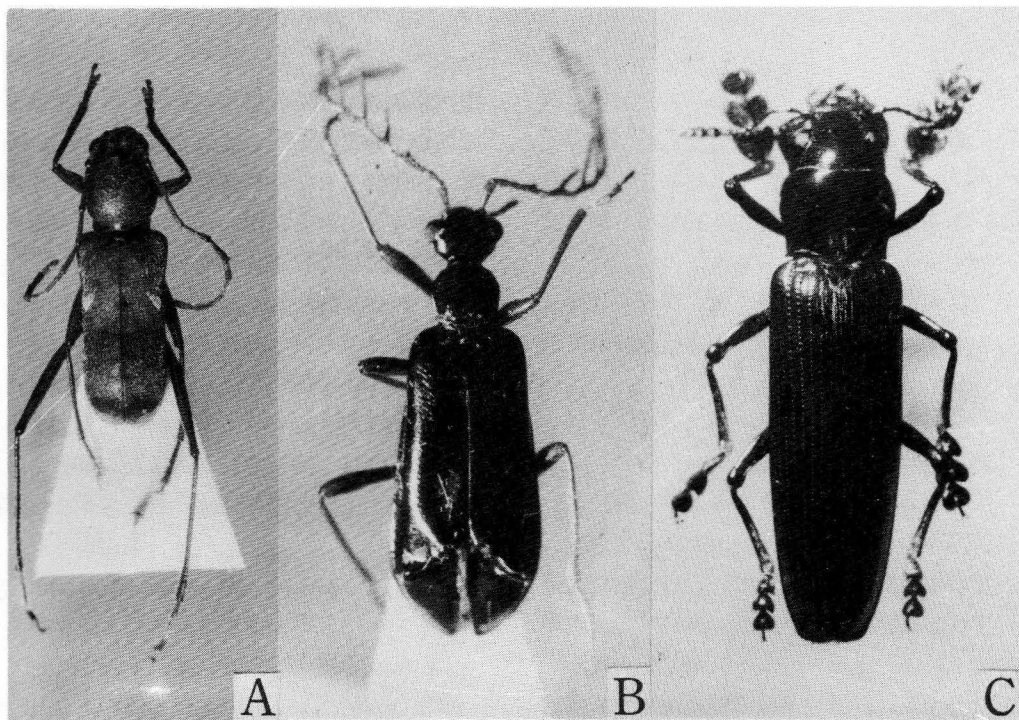
三河本宮山では時々採集されているようであるが, 現在県下では最も南にあたる産地となっている。

8. *Epiclytus yokoyamai* Kano

ヨコヤマトラカミキリ (図, A)

1 ex., 三河本宮山, 1-VI, 1978。

本種は過去に六所山, 三河本宮山, 最近では稲武町井山, 段戸山裏谷等で記録があるが, 稀な種である。今回闇苧溪谷上流で再び得たので, ここに記録する。



A) ヨコヤマトラカミキリ, B) オカモトツヤアナハネムシ, C) ニホンホホビロコメツキモドキ

9. *Cryptocephalus nobilis* Kraatz

ヨツモンクロツツハムシ

2 ex., 南設楽郡鳳来寺山, 22-V, 1978。

本種は黒色の上翅に, 4個の黄色紋を具えた美しい種である。鳳来寺山東照宮から湯谷方面へ向う東海自然歩道の途中, 叩網によって得た。三重県の鈴鹿山系では時々得られているようであるが, 愛知県では, 今回のが最初の記録である。

10. *Gastrolina peltoidea* Gebler

ミヤマヒラタハムシ

多数, 三河本宮山, 16-V, 1978。

本種は中部以北に産するが, 産地が限られている。三河本宮山(789m)では, 中腹以上のハンノキ類に, ルリハムシと共に多産する。三河地方では他からまだ採集されていないようで, 当地方では今回のが最初の記録と思われる。

11. *Dinorhopala takahashii* Kono

タカハシトゲゾウムシ

3 exs., 新城市舟着山, 21-V, 1978.

本種は後腿節は端方肥大し鋸歯状突起を具えた、特異な形状をした種で、他種との区別は容易である。本会の例会に参加した際、ヤマザクラを叩網したところ、本種を得ることができた。三河地方からはこれが最初の記録と思われる。

引用文献

- (1) 中根猛彦・ほか (1963) 原色昆虫大図鑑第2巻 (甲虫編) : 北隆館。
- (2) 加藤裕弘 (1954) ヨコヤマトラカミキリ三河本宮山に産す : 中部昆虫同好会会報第4号 : 14。
- (3) 山崎隆弘 (1973) 三河地方で採集した珍しい甲虫 : 三河の昆虫No.3 : 9-11。
- (4) 竹内克豊 (1976) 稲武町井山川流域のカミキリムシ : 佳香蝶28 (108) : 53-58。
- (5) 松野更一 (1978) 富山村のカミキリムシ : 採集ニュース1号 : 13-16。
- (6) 山崎隆弘 (1978) 段戸山でヨコヤマトラカミキリを採集 : 採集ニュース1号 : 12。
- (7) 穂積俊文 (1966) 東海甲虫誌 (第14報) ハムシ科 : 佳香蝶18 (67) : 91-113。
- (8) 大平仁夫・浅岡孝知 (1976) 愛知県のコメツキムシ (北設山岳地帯を中心として) : 茶臼山高原道路建設予定地域の自然環境調査報告書 : 141-153。

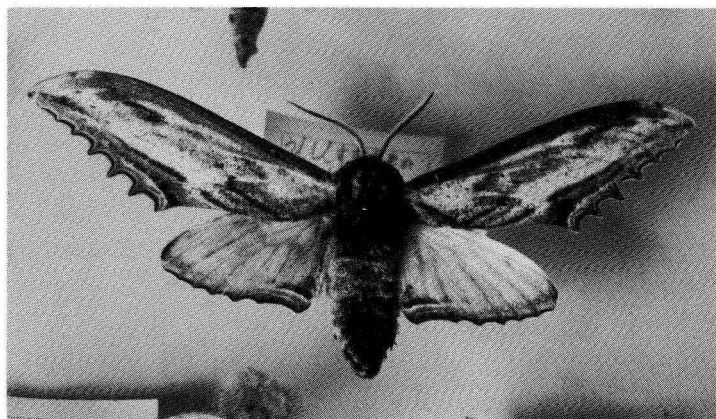
東栄町のオオシモフリスズメの記録

大平仁夫

三河地方におけるオオシモフリスズメの記録は、1961年に西尾市の山田万寛氏が発刊された「愛知県の蛾類について」という印刷物と思われるが、この中で「佐々木和子 (本郷中学校) さんによって採集されている……」と簡単な紹介がなされている。

私は1977年7月に、東栄町の郷土資料館を見

学する機会を得たが、そのとき佐々木さんの標本が10箱428種展示されていた。管理が十分でないもので、大部分のものは色があせており、破損しているものも若干あったが、その中に、上記の記録のもとになったと思われるオオシモフリスズメ (写真) を1頭見出した。ラベルには街路灯、1960年4月20日採集になっていた。



オオシモフリスズメ

館の人の話では、展示されてあるのが佐々木さんの標本の全部で、今では家庭の主婦として生活しておられ、蛾は全くやっておられないとのことである。どなたか、今のうちにこの標本を検討し

て、詳しい採集月日とともに記録して下さることをお願いしたい。

トウキョウトラカミキリ鳳来町に産す

竹内克豊

筆者は、1978年4月23日、愛知県南設楽郡鳳来町布里でカミキリムシの採集を行った際、ナシの花上よりトウキョウトラカミキリ *Chlorophorus yedoensis* (KANO) 1♂を採集した。採集地の標高は約160mで、本種の採集例の多い長野県木曾谷などの産地と比較すると、かなり低地での記録といえる。しかし、コナラが本種のHostの一部であることなどから、三河山間部に広く分布している可能性があると思われる。断片的な採集例ではあるが、分布上興味深いと思われるので報告する。



トウキョウトラカミキリ

(▽ 458 名古屋市緑区鳴海町京田15)

オオフタホシマゲソコガネの 岡崎市の分布

大平仁夫

本種の三河地方の分布については伴(1974:三河の昆虫, 16:22)に記録されていて、同氏によれば額田郡大幡に産すよが、この地方では少ない種であるとしている。それ以前に山崎(1973:三河の昆虫, 3:10)は、岡崎市本宿町で本種を採集している。筆者は昭和53年5月21日に岡崎市羽栗町で飛翔中のを1頭採集した。これらの大幡、本宿、羽栗は、いずれも近い距離にあるのは興味深く、この付近一帯には広く分布しているように思われるが、岡崎市の他の地域からの記録が全く

ないのも興味深いことである。また、本種の幼虫については、山下他(1978:げんせい, 35:5~6)に、古くなった牛ふんの中とその地下に生息しているとされている。